

# きょうされん福島支部

# TOMOだより

2011. 9. 6発行 第3号  
きょうされん福島支部事務局  
(共働く業所ピーターパン内)

〒969-6262

福島県大沼郡会津美里町外川原甲4260-7  
TEL0242-55-0053 FAX0242-55-0054



## 福島支部 会員事業所さんの 活動報告

# ふたばの里・結いの里さん



原発20キロ圏内  
楓葉町の作業所が  
いわき市内で再開  
し  
8月1日 いわき市に久しぶりに会う懐かしい顔が集まりました。3月11日の震災以来、全国各地に避難していた「ふたばの里・りんべるハウス結いの里・憩いの家」の利用者みんながいます。楓葉で働いていたスタッフも集まりました。久しぶりの再会、みんな笑顔で会話も弾みます。待ちに待つていた自分たちの大事な場所がこの日、約5ヶ月ぶりに再開しました。名前は、「ふたばの里・りんべるハウス（就労B型）といの里（相談支援）」

主にグレープホームで生活をしていました十数名の利用者とスタッフでの避難生活は、昼間は交替で水汲みに行き、食事の準備をする。夜は事務所の床に布団を敷き、みんなで雑魚寝をする状態でした。同時に、相談支援結いの里と憩いの家は法人本部の一部で開設し、双葉郡から避難してきた利用者の支援を行つてきましたが、ふたばの里・りんべるハウスは休業しています。

仲間のみんなから「働きたい」「仲良しの友人に会

私たちは、柏葉町で豆腐や豆乳ドーナツの製造と気軽に相談ができる憩いの場を作る活動を行なつてきました。しかし、3月11日の震災・原発事故により、翌日には突然の避難指示が出されました。混乱の中、なんとかいわき市の法人本部と合流し、避難生活が始まりました。

A young boy with short dark hair is the central figure, smiling broadly and making a peace sign with both hands. He is wearing a bright yellow t-shirt with a graphic design that includes the words "The Wizard of Oz" and "Invention". The setting appears to be a rustic wooden building, possibly a cabin or a summer camp. In the background, another person is visible, also smiling and making a similar gesture. The overall atmosphere is joyful and lighthearted.

「お給料を増やしていく  
う！」今、ふたばの里は燃  
えていきます。

「いつの日かふるさとにつれて帰れる」とを願つて

「今まで通り、の  
んびり過ごせる場所がほし  
い」という声が多く寄せら  
れました。避難生活は、慣  
れない環境での新しい生活  
の始まりでした。

そんなストレスのある状況  
の中でも、なんでも相談で  
きる場所があつて、馴染み  
のあるスタッフや仕事内容  
によつて少しでも不安を減  
らすことができれば：それ  
が再開にむけての目標にな  
りました。

行ってきました！

2011年第6回きょうざん

# 東北ブロック交流会イン宮城



8月27・28日

宮城県蔵王ゆと森俱楽部を会場に、東北ブロック交流会が開催されました。福島支部からは、5会員から30名の利用者・職員が参加。東北各地から集合した150名とともに、学び・交流を深めました。

宮城・岩手・福島の震災復興支援活動の報告や障がい者制度改革のお話。また、翌日は自然災害の被災障がい者への救援・支援をされているゆめ風基金理事八幡氏からの特別報告を聞きました。

利用者お楽しみの観光コースでは、バター作りに挑戦！ビンを思いっきり振ってできるバター作りはとても楽しかったと大好評でした。

**全国  
から  
応援**

JDF被災地障がい者支援センターふくしまを通じて、全国からきょうされん加盟作業所の職員さんが支援に来てくれています。

現在、主に南相馬・二本松で再開した作業所の支援に入っていただいている。

浪江町より避難し、二本松で8月から就労B型事業を再開した「アクセスホームさくら」さんの支援に来ていたいた、宮崎県「えがおの里」施設長竹内和広さんより応援メッセージをいただきました。



初めての場所でのスタート。地域を知るために、二本松や郡山など様々な場所へみんなでかけます。この日は二本松霞ヶ城へ。

「アクセスホームさくら」さんが、原発事故発生から5ヶ月弱、渡邊施設長そして高い志をもつた職員の地道な活動により、支援事業を再開されました。

私は、その開所日の平成23年8月1日に、施設を初めて訪問し、再スタートの瞬間に立ち会うことができました。開所式では、原発事故からの避難により、利用者同士お互い会うこと、話すことができなかつた辛い時間を、ススッと忘れさせてくれるようなそんな暖かい空気が感じられました。

施設での支援がはじまつたとしても、本当に物資的にはゼロからのスタート。何かメモ

二本松市  
アクセスホームページさくら  
での1週間

しかし、8月4日 その事業所の近くが放射線のホットスポットとして、地元メディアで報道されました。すぐにスタッフの方が線量計で建物の周りの線量を測りました。「今日のラジオ体操は室内で行ないましょう」というスタッフの明るい元気な声が、利用者の方々を勇気づけたと確信しています。

をしたい。裏紙をつかつて、その裏紙自体がない：「ごみを捨てる：「ごみ箱がないので、買い出しに走る。「そんな小さなモノ」を買い出しに行くことさえ、「ご自身が被災されている立場であるにも関わらず、労を惜しまず、みんなで動く：

そのような環境の中で、雑用や留守番、もしかしたら話し相手？ だけでもお手伝いできた事が非常にうれしく感じ

しかししながら、この現実を受け止め、利用者、仲間を守るという職員・スタッフの思い。そして、今後が見通せない将来への不安は、私の想像を超えるものであろうと思います。

作業の一環として、利用者の巧緻性向上のため、折り紙の千羽鶴を折りました。みんな黙々と折り続けて、静かに時間が流れていきました。みんなが落ち着いた時間の中です。



応援  
ありがとう  
ござい  
ました！

な小さなさくらの花をみ  
冬の時代が終わつてく  
とを切に望みます。

A man in a green t-shirt and olive-green apron is leaning over a kitchen counter, focused on placing small, square cookies onto a baking sheet lined with parchment paper. He is using a white spatula to carefully transfer the cookies from a nearby surface. To his right, another person's hands are visible, also working with the cookies. The kitchen counter is light-colored and holds several items: a red plate, a white container holding lemons and a blue cloth, a white bowl, and two baking sheets filled with more cookies. In the background, there's a window and some kitchen cabinets.

千羽鶴折やお菓子作りの試作。これまでの作業とは違うことが多いですが、利用者のみなさんは積極的に取組んでいます

## お知らせ

## きょうされん福島支部主催

# 施設長・管理者研修会

- とき 平成23年11月26日(土)~27日(日)
  - ところ 郡山市磐梯熱海温泉 『清稜山倶楽部』

11月27日は、『9割がバイトでも最高のスタッフに育つディズニーの教え方』の著者福島文次郎先生の特別講座を予定しております。

タイトルは“ホスピタリティーマインドの向上と人材育成”

誰もがそのサービスに感動を受けるディズニーランドで、長く社員教育に携わってこられた福島先生の蓄積されたノウハウを伝授！福祉事業サービス事業、学ぶ点は多々あります。

賛助会員の皆様もぜひご参加を！公開講座ですので、多くの方の参加が予想されます。お早めに予定を確保しておいてくださいね！